

秋まき小麦現地研修会を開催しました！

平成30年4月27日に妹背牛町秋まき小麦作付け者ほ場にて、現地研修会が開催されました（参加人数21名うち農業者14名、JA職員4名、普及センター3名）。

研修会では、秋まき小麦の茎数の数え方や茎数に応じた施肥など、起生期～幼穂形成期までの栽培管理について、説明しました。

秋まき小麦の現地ほ場研修は、妹背牛町では、初めての試みです。

研修会当日は、風が強く、寒い中での研修となりましたが、参加された皆さんは秋まき小麦の生育を自分の手で確認し、今後の栽培管理に役立てようと、熱心に研修を受けていました。

現地ほ場研修は、農業者が秋まき小麦の生育状況を見て、自分自身で数えることによって、より栽培管理の理解を深められるとともに、地域の仲間と情報交換ができる場として、関係機関と連携しながら、今後も開催していきたいと考えています。



3班に分かれ、茎数を数える。JA職員、普及センターが講師となり、茎数の数え方を説明し、参加者に数えてもらいました。



今年の秋まき小麦生育状況について説明。
調査ほ場の主茎の幼穂長も確認し、幼穂形成期の時期を予測。



調査した茎数に基づき、今後の施肥について説明。